

学校法人滋慶学園 福岡ECO動物海洋専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【令和4年5月26日実施】

令和3年度自己点検自己評価(令和3年4月1日～令和4年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価(平均)	学校関係者評価委員よりの御意見
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1			適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	
1 教育理念・目的・育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	4	<p>【1-1-1】 滋慶学園グループ・福岡ECO動物海洋専門学校としての理念・目的・育人人材像はしっかりと定められている。</p> <p>【1-1-2】 開校以来ペット・海洋・動物業界から求められる人材を育成する産学連携教育を実施。技術やスキルなどの「実学教育」だけでなく、あいさつや対人スキル、社会人・プロの職業人としての身構え・気構え・心構えを身に付ける「人間教育」、国際的な感性を養う「国際教育」を行い業界の求める人材のニーズに適合させている。</p> <p>【1-1-3】 産学連携教育の中で企業プロジェクト・企業課題を通して技術・スキルだけではなく接客や業界の求める社会人像などを知ることができる。</p> <p>【1-1-4】 DX化していく社会にむけて、動物に関する知識・技術だけではなく、将来業界を担うマネジメント人材を育成するために、「テクノロジーを駆使して動物や自然の素晴らしさを魅せることができる・AIの基礎知識を持ち動物の飼育管理から顧客管理や集客イベントを企画し運営に貢献できる・ホスピタリティと英語力を身に付けグローバルに活躍できる」人材育成のための4年制専攻やカリキュラムを構築し、業界の更なる発展に貢献していきたいと考えている。また、愛玩動物看護師の国家資格化に向けて3年制・4年制の動物看護師の専攻を設置。さらにSDGsに貢献できる人材育成にむけて環境分野に特化した新専攻を設置。</p>	<p>■滋慶学園グループのミッション 「職業人教育を通じて社会に貢献する」</p> <p>■滋慶学園グループのヴィジョン 3つの建学の理念を實踐し4つの信頼を得ること 【3つの建学の理念】 「実学教育」「人間教育」「国際教育」 【4つの信頼】 「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」 「産業界からの信頼」「地域からの信頼」</p> <p>■学校のコンセプトと育人人材 動物・自然とふれあい、人に喜びと感動を与える人材を育成する</p> <p>■産学連携教育 業界が求める人材を業界と共に育成する産学連携教育。カリキュラムづくりから演習や実習までを業界のプロフェッショナルとともに行う。企業プロジェクト・企業課題では、企業や施設から要請をいただき、業界と共にイベント運営や調査など様々な課題に取り組み、まさに即戦力育成につながっている。</p> <p>■教育課程編成委員会 本校では教育課程編成委員会を設置し、専攻分野に関する企業・団体との連携を通してアドバイスをいただき、授業内容の改善や工夫などを行っている。</p>	3.9	<p>・理念、目的、育人人材像がしっかりと定められている。</p> <p>・業界が求める人材育成に対して産学連携教育を行っているところは良いと思う。</p> <p>・専門家による日常的な指導は、大きな効果が見込めることから産学連携は一層推進すべきと思う。</p> <p>・業界ニーズ、社会ニーズを踏まえたものとなっており、評価できる。</p> <p>・理念等、しっかりしており今後とも是非発展してもらいたい。</p> <p>・説明された内容に納得した。</p> <p>・ECOは生命あるもの(題材)を対象としており、人間力強化も望まれる。</p> <p>・各専攻ごとに具体的な育人人材像が必要と思う。</p> <p>・専門知識はもちろん、社会的な集団生活の場でも活用できる情報もしっかりと組み込んでいると思う。</p>
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか					
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか					
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか					
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4	<p>【2-2-1】 すべての運営方針は滋慶学園グループの理念に沿って定めている。</p> <p>【2-3-1】 理念等を達成するために5年後を見据えた毎年の事業計画を定め、この計画に沿って教育・就職・広報・人事・収支などの運営を行っている。</p> <p>【2-4-1】 本校の運営方針や収支予算・決算などは滋慶学園の理事会において承認を受け適切に運営を行っている。</p> <p>【2-4-2】 事業計画の中で学校運営組織の人員構成・組織図・職務分掌を作り、役職における職責内容や職務権限を明確にしている。また滋慶学園グループの中期・短期の事業計画に沿って採用を行い、定期的にJESC(滋慶教育科学研究所)によるFD研修やグループ・学校主催の様々な人材育成のための研修を行っている。</p> <p>【2-5-1】 人事・給与に関しては法人総務部と滋慶サービスで制度を確立しており、人事データバンクシステムや勤怠管理システムなどを活用しながら働き方改革にも取り組んでいる。</p> <p>【2-6-1】 意思決定システムはプロセスに応じた会議・決裁者・最終決裁者を設定している。様々な目的により会議や委員会などを定期的に実施し滋慶学園グループの方針の確認・共有や企画立案、状況報告、連絡相談の場を設けている。</p> <p>【2-7-1】 情報のシステム化については、広報では資料請求から入学までを管理する広報システム、教務では出欠管理システム・就職システムを通して学生の出欠管理やサポートアンケート状況の確認、カウンセリングの内容などの把握をし、総務・経理では勤怠管理システムや予算管理システムなどを導入し業務の効率化に努めている。</p>	<p>滋慶学園グループではグループ全体で教育の質的向上を目指すため、独自の研究機関としてJESC(滋慶教育科学研究所)を設置。JESCでは教育力・運営力向上を目的とし、教職員・講師を対象に研修を実施している。「教育の質は、実践する教職員の成長により向上する。」という考えのもと、新入職者からマネジメント層に至るまで、それぞれの職務に必要なマインドの養成とスキルアップを目指している。</p> <p><JESC主催の主な研修内容例> ・新入職研修(広報研修・FDマイクロレベル研修) ・FDマイクロレベルフォローアップ研修・FDミドルレベル研修 ・FDマクロレベル研修・FDセッションコーチ研修 ・進路変更アドバイザー研修・キャリアサポートアンケート勉強会 ・マネジメント研修・広報力大会・滋慶教育科学学会 ・キャリア教育アドバンス研修 など</p> <p><その他研修例> ・人権同和問題企業主研修会・留学生担当職員研修会・認定CPOアカデミック資格講座・LGBT研修・専門課程、高等課程ごとの講師研修会 等</p> <p>【情報システム】 ◎広報業務システム…資料請求～出願までの情報を管理できる ◎出欠管理システム…在校生の出欠、成績、カウンセリング内容を管理できる ◎就職システム…全国の求人を見ることができるシステム ◎予算管理システム…年度内の予算で運営できるように予算確認から執行までを確認できるシステム ◎勤怠管理システム…教職員が健康でいられるように シフト管理を徹底し、公休日・有給休暇の消化、残業の調整などを行う ◎人事データバンク…人事に関する申請を簡略化するためのシステム</p>	3.6	<p>・学校運営に関する体制は整っており評価できる。</p> <p>・組織がしっかりしているので安心している。</p> <p>・職員の研修が細かく実施されていて良いと思う。</p> <p>・システム化などは率先して取り入れられているが、やや効率的でないと感じる場面もある。</p> <p>・事業計画について。入学者数度の目標(売上)はあるが、どんな人物をどのくらい、どのような職場に送り出すか等、出口をまず明確にするべき。</p> <p>・おおむね問題なく運営されている様であるが、教員の離職が時々あるのが気になる。</p> <p>・出欠管理システム、就職システム等学生の管理もされており、保護者として安心できる取組みと評価する。</p>
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか					
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか					
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか					
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか					
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか					
	2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか					

3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	【3-8-1/3-8-2】 3つの建学の理念を踏まえ、4つの信頼を得ることで即戦力となる人材を育成し社会に貢献するというミッションのもと、ディプロマポリシー(卒業認定等の方針)・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーを設定し学年毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしている。	【3つのポリシー】 3つの建学の理念と4つの信頼に基づき即戦力となる人材を育成し社会に貢献するというミッションのもとに、3つのポリシーを策定している。 ①ディプロマポリシー 技術・知識のみならず、ビジネスマインド、社会人としての身構え・気構え・心構え、国際的な感性をしっかりと身に付け、各専門分野や社会に貢献できる人材となる。 ②カリキュラムポリシー ディプロマポリシーを達成するために産学連携のもと3つのカリキュラム編成を成している。 「ファウンデーション・カリキュラム」 即戦力を身に付けた職業人として必要な基礎知識の習得を目指す。 「スペシャライズ・カリキュラム」 より高度な専門知識・技術の習得と、社会に貢献できる職業人として要求される身構え・気構え・心構えや国際感覚の習得を目指す。 「ダブルメジャー・カリキュラム」 他専攻の科目を選択できるカリキュラムで、幅広い知識と技術を持った職業人を目指す。 ③アドミッションポリシー 将来の夢や目標・目的を持ち、好きな仕事を通して人に喜びや感動を与えたいという気持ちを持っている人を入学者として受け入れる。 【キャリア教育】 本校では、職業教育のアプローチとして、3つに時期を捉え、入学前のキャリア形成から、在学中のキャリア設計、卒業後のキャリア開発まで学生の育成・成長にフォローで関わり、一人ひとりを大切にしたい教育を行っている。 ①キャリア形成 入学前の時期に、オープンキャンパスやマイスクールを通して、基盤となる勤労観・職業観の形成と確立をする時期。 ②キャリア設計 在学中は、専門職業に就くプロセスの設計と能力の習得と、セルフマネジメント・チームマネジメント・プロジェクトマネジメントなどの人間力を修得する時期。 ③キャリア開発 卒業後は、卒後教育・支援等を通して、社会・職業人への移行と更なるキャリア開発をする時期。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・教育体制はしっかりとされており評価できる。 ・教育活動の体制は明確になっており、問題なく運営されている。 ・説明でもあったが、制限のかかる中いち早くオンライン授業を取り入れる等、努力していたと思う。 ・視野や可能性を広げるためにも他専攻の科目が選択できるのは素晴らしいと思う。ただ、基礎知識等の差は生じるため、学生が満足感を得るかどうかは難しいようにも思う。 ・昨年に引き続きコロナ禍のためオンライン授業が主となった1年であったため、子供たちのモチベーションを維持することが難しいと感じられた。実習等の現場での経験不足をどう補うかが課題であると思う。 ・小学校の時期からキャリア教育の重要性が言われており、その集大成の年令になるため、「人間教育」のためのさらなる発展を期待したい。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか					
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか		【3-9-1/3-9-2】 教育課程編成において、業界とともに独自の「産学連携教育システム」を構築しており、求められる即戦力となる人材を育成することを目標とし取り組んでいる。また年2回実施される教育課程編成委員会でいただいた意見を反映している。			
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか		【3-9-3】 入学前から卒業までをキャリア形成⇒キャリア設計⇒キャリア開発と3つのフローに分けキャリア教育を実施している。本校で行っている教育は、すべては社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。			
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか		【3-9-4】 年2回、専門課程及び高等課程の学生・生徒に授業アンケートを実施し、授業評価を行いながら学生の授業に対する満足度の把握・向上に努めている。さらに学科別に講師会を実施しアンケート結果を基に講師と担任が連携を取り、授業の改善、学生フォローを行っている。			
	3-9-4 授業評価を実施しているか		【3-10-1】 成績評価や進級・卒業認定基準は学則、試験規程等で明確に決められており、それを学生便覧及び教育指導要領に記載して、学生、教職員、講師に周知徹底している。GPA制度(Grade Point Average)も導入している。そして、進級判定会議や卒業判定会議を通して、適切に運営されている。			
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか		【3-10-2】 卒業・進級制作展(We are ECO)において学生の研究課題や企業プロジェクトの発表、作品及びコンテストにおいて習得した技術を業界の方や保護者の方々へ披露し評価いただいている。			
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか		【3-11-1】 目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置づけられており、それを学校パンフレット、学生便覧、教育指導要領等に明記し、学生・教職員・講師に周知している。			
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか		【3-11-2】 動物看護師統一認定資格やJKC認定C級トリマーなどの資格取得のための授業や対策講座などを設けている。			
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか		【3-12-1】 認定動物看護師の資格を有する担任や獣医師免許を持ち現役として活躍する講師、JKC公認トリマーライセンス教士取得やA級ライセンスを取得している講師も在籍している。			
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか		【3-12-2/3-12-3】 教職員の資質向上の取り組みとして、JESC(滋慶教育科学研究所)主催のFD(ファカルティディベロップメント)研修やカウンセリング研修を行っている。学校長・副校長の監督のもと、教務部長を中心に学科長、主任及び各専攻一人以上の責任者を配置している。			
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか		【3-12-3】 教職員の資質向上の取り組みとして、JESC(滋慶教育科学研究所)主催のFD(ファカルティディベロップメント)研修やカウンセリング研修を行っている。学校長・副校長の監督のもと、教務部長を中心に学科長、主任及び各専攻一人以上の責任者を配置している。			
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか						

4 学 習 成 果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	3	<p>【4-13-1】 昨年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を教訓に、対面とオンライン企業説明会を併用して実施。またteamsを活用して、求人情報の提供やオンライン面談を行った結果、昨年度よりも就職対象率が上がり、早期から内定をもらう学生も増加。ただし、現時点でまだ若干名の卒業生が就職活動を継続中。今後も支援を継続するとともに、さらなる就職対象率、専門職就職率向上にむけ、各分野の動向に合わせた就職活動時期の計画やサポートを細かく実施していく。</p>	<p>〈就職実績〉 2021年度 卒業生数281名 就職希望者254名 就職決定者250名 就職対象者90.3%(昨年:88.3%) 就職率98.4% 専門職就職率94.8%(昨年91%)</p>	3.3	<p>・学校側のサポート、関心はしっかりしているように感じる。 ・学生が学校生活を楽しみ、また頼りにしているように感じる場面も多々見受けられる。 ・就職が厳しい中、これだけの就職率を上げられたと思う。 ・コロナ禍で活動が制限されることもあり、トリマーライセンスなど合格率が悪くなったものがあるものの、就職率はアップしており評価できる。 ・オンライン授業等々のおかげでコロナ禍である状況でも学校生活が送れていると思うが、コミュニケーション能力がさらに低くなったようにも感じている。 ・資格取得に関してはコロナ禍の影響はあると思うが、合格率向上に努めてほしい。 ・自分のためにも、今後の学生のためにも資格取得というものは大事だと考える。資格取得率が上がることを期待する。</p>
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか		<p>【4-14-1】 担任や講師による日頃からの細やかなサポートの効果もあり、認定動物看護師に関しては、前年85%に対して本年は91%と向上した。また、愛玩動物看護師国家資格に向けた全国姉妹校及び、JESC国家資格対策センターとの連携を強化し合格率向上を目指す。ただ、JKC認定C級トリマーライセンスは前年91.6%に対して本年64.7%と大きく落とすこととなった。要因としてはコロナ禍による学生個々への演習サポートが弱かった事が考えられる。2022年度は、対面での演習を強化するとともに、グルーミングやカットなどの動画をアップしオンデマンド教材として提供していく。</p>	<p>〈資格取得率〉 ◎動物看護師統一認定試験 受験者 56名 合格者 51名 合格率 91.07%(昨年:85%) ◎JKC認定C級トリマーライセンス 受験者51名 合格者33名 合格率64.7%(昨年:91.6%)</p>		
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか		<p>【4-15-1】 産学連携教育の実践により授業や特別講義、企業プロジェクトを通して業界の方々や卒業生から就職の状況把握をしている。また、定期的な企業訪問を重ね卒業生の活躍を把握し、OB・OGセミナーなどの取り組みにより社会的評価を把握している。コロナ禍の影響で同窓会の開催をオンラインでの実施に工夫するほか、卒業生の転職相談や支援に力を入れている。</p>	<p>〈主な就職サポート〉 ①進路カウンセリング ②就職出陣式・就職セミナー ③合同企業説明会 ④OB・OGセミナー ⑤インターンシップ ⑥就職保護者会 ⑦同窓会 ⑧卒業セミナー ⑨卒業生向け転職相談</p>		

5 学 生 支 援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3	【5-16-1】 就職専門部署のキャリアセンターを設置し、担任と連携をとりながら就職の相談、求人紹介、合同企業説明会の実施、面接指導などの支援をしている。また、学内において就職活動への意識を高めるために就職セミナーや就職出陣式、業界で活躍する卒業生を招いてのOB・OGセミナーを行っている。キャリアセンターは全国の姉妹校と連携して求人やインターンシップ情報をシェアしている。	<p>全校学生・生徒数723名 退学者41名 退学率5.7% (2020年度:5.9%、2019年度:6.2%)</p> <p>退学率の減少を図るため全教職員対象の研修会を12月に実施 講師:滋慶学園COMグループ教務運営部長 伊藤先生 成果:退学率の低い学校で行われているチームサポートの方法、毎回の学科ミーティングの在り方を学んだ。 課題:担任だけではなくさまざまな部署が協力して学生をひとり一人サポートしていくチームミーティングを定期的に行う。</p> <p>滋慶学園グループでは、学生満足度向上のため、様々な支援体制を整備している。</p> <p><主な支援機関> ① 滋慶トータルサポートセンター福岡 ② 医療法人慶生会 慶生会クリニック(内科・歯科) ③ 慶生鍼灸院・整骨院 ④ キャリアセンター ⑤ 滋慶学園専用寮(スチューデントハイム・アソシエイト) ⑥ 学生食堂(滋慶レストラン) ⑦ 事務局会計課 ⑧ 進路変更委員会 ⑨ 滋慶国際交流COM</p> <p><主な支援制度> ① 進路変更制度 ② 長期履修制度 ③ 学費分割納入制度 ④ 留学生奨学金制度 ⑤ 滋慶奨学金 ⑥ 担任制度 ⑦ 卒業後教育制度 ⑧ 海外専門留学</p> <p><その他> ① 各種クラブ活動 ② 駐輪場の整備 ③ free WiFi完備</p>	3.4	<p>・学生生活を行う中で、細やかな所まで配慮されていると思う。</p> <p>・手厚い支援体制が整えられており評価できる。</p> <p>・学生一人一人に対応することはなかなか難しいが、よく対応されていると思う。良い環境を作って頂き、学生の支援をして頂きたい。</p> <p>・退学率も減少傾向で取り組みの成果と評価できるが、姉妹校と比較するとまだ高い。</p> <p>・学校側のサポートは十分であるように感じる。集団生活を行う以上、学校であっても企業であっても少なからず人の「合う」、「合わない」は仕方がない気がする。</p> <p>・専属のカウンセラーを利用しやすい環境づくりをしてほしい。</p> <p>・リカレント教育制度は是非早急に導入して頂きたい。</p> <p>・個人的意見だが、ワクチンを3回打っている学生であれば、運動部の大会も行って良いのではないかと思う。</p> <p>・オンラインで保護者会を開催して頂いたことは、保護者として担任の先生と情報を共有できとてもありがたいことだった。</p>
	5-17-1 退学率の低減が図られているか		【5-17-1】 一昨年・昨年と比較すると退学率は減少した。教務ミーティング、学科ミーティングによるチーム支援の成果が出てきている。ただし、1年次の退学者が昨年よりも増加しており、学内で定めた目標には達していない。退学理由としては、コロナ禍による学校行事(学園祭、海外実学研修等)や演習、校外実習中止による機会損失によって、学園生活・授業満足度の低下が生じたと考えられる。引き続きチーム支援を行いながら、学園生活・授業満足度を向上させるために、コロナ対策をおこないながら、行事、演習、校外実習の機会を増やしていく。			
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか		【5-18-1】 学生相談窓口である滋慶トータルサポートセンターを学校から徒歩3分の場所に設置し、専属のカウンセラーが秘密厳守で学生の悩みや相談の対応をする体制を整えている。			
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか		【5-18-2】 滋慶国際交流COM(JTSC)を中心に留学生の修学状況の把握やビザなどの手続きから自国の家族へのフォローまで様々な生活面のサポートを行っている。学内に留学生対応の担当スタッフも配置。年に数回、ウェルカムパーティーや山笠見学など、姉妹校合同で留学生の親睦会を実施している。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から交流イベントなどが中止になり、積極的に友達作りができない留学生が孤立してしまわないように心掛けた。			
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか		【5-19-1】 学生支援機構の奨学金の他、滋慶学園グループ独自の滋慶奨学金、学費分納や延納などの体制を整備している。学費担当者を学内に配置し、担任との連携を図り学費で修学をあきらめることのないようにサポートした結果、学費が原因での退学者が減少。また今年度はコロナで家計が急変した学生への給付金を出すなど積極的に日本学生支援機構の制度を活用した。			
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか		【5-19-2】 慶生会クリニックと連携し、健康診断を行っている。歯科・内科の受診などを奨励し、学生の健康管理サポートは整備されている。健康診断における課題は2年次の受診率と再検査の受診率の向上を図ることである。また、新型コロナウイルス感染防止に関する安全衛生委員会を姉妹校と立ち上げ、専門家指導のもと「新型コロナウイルス感染防止対策マニュアル」を作成、全学生と講師・教職員に配布、感染予防を徹底して行った。			
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか		【5-19-3】 関連企業のジケイスペース㈱が専用寮(スチューデントハイム、アソシエイト)5棟を運営。家具家電を完備、セキュリティ強化も図り安心・安全な学生生活をサポートしている。			
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか		【5-19-4】 運動部や文化部、動物系のクラブ活動があり、年間予算・顧問を設けて活動を支援している。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から運動部の大会・活動が中止、次年度も用途は立たない状況。			
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか		【5-20-1】 新入生および卒業年次生の保護者を対象に保護者会を開催している。また、コロナ禍の中、オンラインでの保護者会を開催し、学校生活の状況や就職活動の支援方法について伝え、家庭との連携を深めている。今年度はコロナのため集合しての就職保護者会の実施ができなかったが、就職活動の支援方法や業界情報を各専攻毎に資料にして郵送するなどの対策を実施。次年度はオンラインを含めての実施を予定している。また高等課程においては保護会を年3回おこなっている。			
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか		【5-21-1】 卒業後の再就職支援は常時行っている。またオンライン同窓会では、遠方で参加できなかった卒業生も参加することができ、様々な意見交換や現在の就業状況などを把握することができた。			
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	【5-21-2】 同窓会やOB・OGセミナーを実施し、業界の現状を把握することに努め、業界ごとのニーズにあった再教育プログラムを提供。犬のしつけ教室や動物看護師のセミナーなども開催していたが今年度は中止。今後は他分野の卒業生に向けてのセミナーもオンラインも含め実施を検討していく。					
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	【5-21-3】 業界からのニーズに合わせリカレント教育制度の導入について検討したいが、まだできていないのが現状。今後は愛玩動物看護師の国家資格取得に向けての学び直しなども検討中。					

<p>6 教育環境</p>	<p>6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか</p> <p>6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか</p> <p>6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか</p> <p>6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか</p>	<p>4</p>	<p>【6-22-1】 施設・設備は、業界の必要性に応じて整備しており、事業計画の中で毎年、改装・改修・教育機器備品購入なども計画的に実施している。 長期修繕計画のもと、外壁や消火設備点検や補修なども行っている。 また、新型コロナウイルス感染対策のため感染防止マニュアルを作成し、検温のためのAIサーマルカメラ、換気のためのエアバスター、消毒液、除菌マット、アクリル板を設置し、清掃業者による校舎内共有部(ドアノブ、手すり、トイレなど)の消毒を毎日おこなっています。</p> <p>【6-23-1】 学外実習、業界研修(インターンシップ)先とは綿密な連携をとり実施体制を整えている。海外研修では、国際部を中心にサポート体制を作っているが2021年度も新型コロナウイルスの影響で実施できず。ただ、アフリカ、オーストラリア、アメリカとオンラインで繋ぎ実施できた。動物園やアフリカからライブで野生動物を見せてもらったり、保護施設を見学させてもらった。また、専門留学もできなかったため、オンラインでの語学留学などのできる限り学びを止めないように対策をとっている。</p> <p>【6-24-1】 防災計画を策定し、それに基づいて防火管理者を始めとして防災組織体制を構築している。また、年2回の避難誘導訓練を実施すると共に、ゲリラ豪雨や竜巻、地震など異常気象に備えて、学生の危機意識の確立を図って安全確保に努めている。ただし、天災は日頃からの備えが重要であり、全員での認識が重要な為、全学生及び教員(非常勤講師)合同での訓練が望ましい。今後更なる充実を図っていく。</p> <p>【6-24-2】 ガードマンが常駐し、館内警備にあたりと共に、安心安全な教育環境を学生に提供するために、福岡県警察や行政、消費生活センターなどの専門機関と連携をして、自転車安全講習、薬物乱用防止講習、悪徳商法被害防止講習、女性犯罪被害防止講習など様々な安全講習を実施している。</p>	<p>滋慶学園グループには、サポート企業・関連企業が多く存在し、グループ総力を挙げて教育環境の整備にあたっている。</p> <p><サポート企業・関連企業の一例> ① ジケイ・スペース㈱・・・学生寮や学生食堂の運営 ② DUCE・・・校舎の改修・改装・メンテナンス、清掃、警備などの管理 ③ ㈱ブレインスタッフコンサルタンツ・・・業務システム、ネットワーク管理 ④ VISTA ARTS・・・ホームページ制作、コンピュータ教育、システム制作、卒業アルバム制作 ⑤ 滋慶出版・・・教本・教材開発等 ⑥ ILC国際語学センター・・・英会話教育等</p> <p><その他> ① ガードマンの配置による安全確保 ② 緊急時安否確認システムによる学生の安全確保の推進</p>	<p>4.0</p>	<p>・適切に教育環境が整備されており評価できる。 ・コロナ禍で海外渡航ができない中、オンラインで対応するなど、できる範囲での対応をしており評価できる。 ・設備ではないが、トイレ設置されているハンドペーパーの使用済みのものが小さく丸められるのにゴミ箱がいっぱい溢れていた。清掃業者が来るから、誰かがやるから何も気にしない?このような細かなことを学生に教えるのも必要かと思った。 ・学外実習、海外実習がコロナ禍で制約を受けたことは残念だが、オンラインでの見学ができたことは良かった。 ・コロナが発生し大変だとは思いますが、気を抜かない感染防止対策は素晴らしいと思う。</p>
<p>7 学生の募集と受け入れ</p>	<p>7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか</p> <p>7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか</p> <p>7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか</p> <p>7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか</p> <p>7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか</p> <p>7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか</p>	<p>4</p>	<p>【7-25-1】 職業教育を実践する学校として入学前から仕事観・勤労観を持っていただくために、オープンキャンパス(体験入学)やプレカレッジにてお仕事体験を実施し、ひとりひとりの目的・目標を明確にできるように自己発見のサポートを行っている。入学案内やホームページ上でもめざす職業や学びの内容を明確化できている。</p> <p>【7-25-2】 高等学校内での進路ガイダンスや職業理解セミナー、進学サイトやホームページ、オープンキャンパス、動物園・水族館お出かけツアーにてキャリア形成支援と入学前教育を適切かつ効果的に行っている。また、福岡県専修学校各種学校協会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容を遵守している。感染防止の観点から来校できない方へむけてのyoutubeを活用したオンラインオープンキャンパスの実施、LINEやZoomでのOne to One進路相談なども定期的実施をしている。また新たに360°Cバーチャル校舎見学も設置。</p> <p>【7-26-1】 入学募集要項に入学選考基準を明確化しており、適切に運用している。入学選考は学力検査ではなく、作文と面接による将来の仕事や目標などを明確にできているか等、目的意識の確認を行っている。</p> <p>【7-26-2】 入学選考での目的意識インタビューとプレゼンテーションシートを把握し、クラス運営の中に活かしている。</p> <p>【7-27-1】 授業や実習内容、その他の経費に対応した学納金になっている。</p> <p>【7-27-2】 入学辞退者の授業料等については、3月31日までに入学辞退の申し出があった場合は、入学金を除き学費等を全て返還している。しかし、4月1日以降は、最高裁の判例に基づき、海外研修積立金などの預り金以外は、返金できない。また、このことは、学生募集要項に於いて、「学費一覧」ページと「学費納入スケジュール」ページの2か所に明記している。</p>	<p><入学選考の種類> AO入試(総合型選抜) 高等学校推薦 指定校推薦(指定校のみ実施) 一般入試(専願・併願) 社会人入試</p> <p><入学選考における配慮> ・願書の記載事項、面接での質問等を適正に行うための研修 ・障害のある受験者、LGBT等に配慮した選考</p> <p><入学者> 2021年度 375名 定員充足率104.2% (専門課程2年制299名、3年制53名、高等課程23名) 2022年度 329名 定員充足率88.9% (専門課程2年制50名、3年制214名、4年制38名、高等課程27名)</p>	<p>3.6</p>	<p>・説明された内容で納得した。 ・取組みはおおむね問題ないが、入学者数が減っていることが気になる。3年制を増やしていく方針で、3年制の入学者は定員に達しているが、2年制と4年制では定員に達していない。 ・学納金の納付について、大学は前期・後期の2分割に対して全納なので、3年制・4年制が増えたと保護者としては負担が大きくなるのではと思う。 ・入学選考はもう少し厳しくても良いように感じる。 ・学力試験を重要視し、一定の学力に達していなければ入学できないようにしていかないと、全体学力が低下しかねないと思う。</p>

8 財 務	<p>8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか</p> <p>8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか</p> <p>8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか</p> <p>8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか</p> <p>8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか</p> <p>8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか</p>	4	<p>【8-28-1】 毎年5か年の事業計画を作成し、中長期の視点で5か年の収支予算を立てており、財務基盤は安定している。</p> <p>【8-28-2】 5か年計画及び単年度事業計画に基づいて、滋慶学園本部、法人本部、学校がそれぞれの立場から財務分析を行っている。</p> <p>【8-29-1】 5か年の予算は、中長期を見越した新学科構想、施設・設備構想、人員構 想等を考慮して支出を計画し、将来の学生数等を鑑みながら収入を予測し、収支計画を作成する。</p> <p>【8-29-2】 予算の執行管理は計画的に行っている。4期に分け見直しを行っており、予算と執行金額との乖離がある場合は修正予算を組む。</p> <p>【8-30-1】 学園本部と法人本部の二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしつかりと管理し、健全な学校運営ができています。 また収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。 さらに、監査は私立学校法上義務付けられている監事監査のほか、公認 会計士による監査も受けている。</p> <p>【8-31-1】 私立学校法に基づいて、ホームページで財務情報を公開している。現在 は、令和2年度財務情報を記載しているが、決算理事会終了後の7月中旬を目途に、令和3年度財務情報に更新予定。</p>	<p>当法人の財務情報公開に関しては、下記の通りとなっている。</p> <p><組織体制></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法人統括責任者 2. 学校統括責任者 3. 学校事務担当者 <p><公開資料></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財産目録 2. 貸借対照表 3. 収支計算書 4. 事業報告書 5. 監査報告書 <p><閲覧場所></p> <p>法人本部 本校ホームページで財務・経営情報を公開</p>	4.0	・問題ない
9 法 令 等 の 遵 守	<p>9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか</p> <p>9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか</p> <p>9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか</p> <p>9-34-2 自己評価結果を公表しているか</p> <p>9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか</p> <p>9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか</p> <p>9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか</p>	4	<p>【9-32-1】 法令遵守については、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断し、また学校運営が適切かどうかは各組織体制でチェックできるようにしている。</p> <p>【9-33-1】 学校が保有する個人情報(資料請求者、在校生、卒業生、教職員、講師、実習先など)は個人情報保護法に基づいて、厳格に管理・保護されている。</p> <p>【9-34-1】 自己評価は毎年中間評価と年度末の自己評価を実施する体制を整備し、評価を行っている。</p> <p>【9-34-2】 自己評価結果は毎年ホームページにて公表している。</p> <p>【9-34-3】 年に1回学校関係者評価委員会を開催し、評価・ご意見をいただいている。</p> <p>【9-34-4】 学校関係者評価結果は毎年ホームページにて公表している。 (本校HP情報公開 学校関係者評価委員会)</p> <p>【9-35-1】 教育に関する情報公開はホームページやパンフレット、SNSや学校新聞などに随時掲載している。</p>	<p><法令順守に係る組織体制・システム></p> <p>◎組織体制</p> <ol style="list-style-type: none"> ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) <p>◎システム(管理システム)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ) <p>学内にコンプライアンス委員会を設置し、厳格なコンプライアンスの遵守に努めている。委員長は、統括責任者である法人の常務理事が就任し、委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。 主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発防止対 策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のための啓発活動の推進である。 監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの 実施状況についても監査してもらっている</p>	4.0	<p>・最も重要なのは個人情報だと考えるが、しっかり管理されており安心できると思われる。</p> <p>・問題ない</p>

10 社会 貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	【10-36-1】 近隣の子どもたちに動物とのふれあいと学びの機会を持っていただけるように『アニマルキッズスクール』を実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けこれらのイベントを中止。2022年度は5回の開催を目標に7月から活動再開する予定。また、中学生を対象とした職業体験イベントを夏休みに合わせ8月に実施予定。	<令和3年度の取り組み> ※コロナ禍 中止せざるを得ないイベントが多数の中、以下のイベントや活動を実施できた ①「福岡県立社会教育総合センター」動物のふれあいイベント ②「東公園」移動動物園・ドッグラン ③「太宰府特別支援学校」職業理解の出張授業 ④「マリンワールド海の中道」カスミサンショウウオ域外保全活動 ⑤「唐津市いろは島」飼い主へのマナーアップ講座 ⑥「福岡市動物愛護管理センター」わんにゃんよかイベント	3.3	・コロナ禍で活動を制限されてできないことが多く残念だった。 ・緊急事態宣言もあったため、活動に制限がかかっていたが、その中でもできる行動をしていたと思う。 ・ここ2年間コロナ禍の為仕方がなかったが、今年度から対策をしながら社会貢献に取り組んでもらいたい。学校、学生として各自コロナ対策を考えて支援してもらいたい。期待している。 ・コロナ禍で活動が制限されたことは仕方がないが、学生にとっては残念なことだと思う。 ・学校側も心苦しいという想いはあったと思うが、適切な判断だったと思う。
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか		【10-36-2】 留学生を対象とした学校見学会などを実施したが、アジアの人材育成を担う学校としてもっと国際交流に力をいれるべきと考えている。今年度は感染防止の観点から留学生や海外の交流ができなかったが、2022年度はコロナ対策をしつつ実施する予定。			
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか		【10-37-1】 動物愛護や環境保全に関するボランティア活動を行っている。特に、愛護活動について今年度は5月から再開し、2ヶ月に1回のペースで実施した。※緊急事態宣言中は除く。			